

印西クリーンセンター次期中間処理施設整備に関わる説明会 質疑応答

※ ◆説明会当日に寄せられた意見・質問

★説明会アンケートで寄せられた意見・質問

項目	質問	回答
1	◆今回の広域の住民に対する説明会であるが、この説明会の開催の前提として、移転予定地の周辺住民への説明を行い、了解を得ているという認識でよいか。	◇今回の説明会は、2年間にわたる建設予定地選定作業の結果と、施設基本計画の概要説明として、開催させていただきました。 建設予定地の決定につきましては、検討委員会では25項目に及ぶ比較評価結果から、管理者・副管理者会議にて上位3箇所を候補地として、印西市の「まちづくりにおける見解(都市計画、景観、住民への影響度、環境負荷軽減への貢献度)」、さらに熱供給事業者における「エネルギー有効活用の検討結果」などを踏まえ、印西市②(泉・多々羅田地先)といたしました。 検討委員会で行われた選定の経緯につきましては、適宜組合HP、広報紙で公開し、組合議会、環境委員会などでも、説明報告をしております。 ごみ処理施設は、私たちが衛生的かつ快適な生活環境を維持するうえで、欠くことのできない施設であることは、皆様にご理解をいただいているものと考えております。
2	★移転先の近くの方たちがまとまって出席して、鋭く意見を出されたと受け取りました。検討委員会の途中からでも、移転候補の周辺の方々との話し合いをしておけばと思いました。	今後の施設整備には、施設基本計画に基づき、最新の技術の導入と、環境への配慮はもちろん、地域環境に寄与できる施設として、整備してまいりたいと思っておりますのでご理解とご協力をお願いいたします。
3	★印西市②に決定した経緯・理由についての説明不足の感あり。	今後は、建設予定地周辺の自治会・町内会に個別の説明を実施し、ご理解いただけるよう対応をしております。
4	★新予定地の大塚の皆さんが、こんなに大きな問題と意見を持っていることにびっくりしました。決定するまで余りにも地元との協議がほとんどされていないことを知りびっくりしました。このまま新地に決定することは大問題です。栄町としてこのような現状の中で受け入れることはできないと思います。	
5	★場所の選定等、難しい問題と思いますが、ご尽力願います。	
6	★場所選定に関して、地域住民との協議がどの程度行われたか。極めて不足しているのではないかと。	
7	★白紙撤回を要求します。(CS計画について)「地域住民との対話の中で決めていった」旨の話がありましたが、今回の討論の中で、全く地域住民との対話・納得が得られていないことが明白となりましたので、当然白紙撤回すべきです。(出席できない家族3人分の総意です。)	
8	★場所決定の時に大塚や泉が参加していないことを知らないとはいえませんが、ここで説明をしていただきたかった。	
9	★移転先選定理由が全く住民の意見を取り入れてない。関係者が勝手に決定し、変更はしないとどういう事だ。	
10	★熱回収(外部熱供給)に重点を置いている感があり納得できない。住民への健康問題も不明確である。	
11	★ニュータウン地域が広いのになぜ印西市にだけに集めるのか。他の市町はニュータウン土地を公共の為の土地を出すのも当然だろ。町内会には何の相談も無い。	
12	★町づくり周辺の環境を考慮して用地決定をしたとの説明があつたが、地域住民の安全を無視している。	
13	★クリーンセンターの場所について住民に配慮した位置になるのかと期待していたが、現在と何ら変わらず再度住民に配慮した場所を決め直して欲しい。	

印西クリーンセンター次期中間処理施設整備に関わる説明会 質疑応答

※ ◆説明会当日に寄せられた意見・質問

★説明会アンケートで寄せられた意見・質問

14	★建設予定地につきまして、断固反対意義あります。最初の設置もこれから住民が増えるであろう所に造り、今また造り替えが大塚とは、近年この付近はこれから子育て等若い世代の住居ができております。近隣の環境をまず考えてからして下さい。
15	★都市の中心に設置が造る方にとって簡単といいますか。既に街として住民が生活しているこのような近くに設置は反対です。こちらに転居の時、駅前(メイン)のクリーンセンターに驚きました。それ以後、街も大きくなり人も増えました。いずれどこかに移転と思ってました。それがもっと悪い環境になるとは、納得できません。断固反対。印西市合併で大きくなりました。好適な場所を探して下さい。
16	★絶対反対です。
17	★多くの場で多くの説明会の開催を。
18	★地域住民に何ら説明会も何すら説明なく、決定しましたとの説明は納得出来ない。絶対反対。
19	★地域住民に説明して下さい。何一つ納得いきません。
20	★質疑応答が不十分、再度説明会を開催すべき。
21	★質問等多々ありますので、別途説明会をして下さい。(大塚三丁目町内会向け)
22	★建設予定地を変更しなさい。絶対反対。
23	★説明会が遅すぎです。用地の決定に関しても、住民を無視した内容で、これでは納得できるはずがありません。用地に関してのみでいいので、一度白紙にして、住民を交えた話し合いをされたらいかがでしょうか。お互いに歩みよりましょう。少しでも。
24	★クリーンセンターの予定地賛成できません。今の場所での建て替えでもいいのではないのでしょうか。勝手に決めないで下さい。反対です。
25	★移転場所決定後の説明会はいかがなものか。
26	★住民説明がなされていないことが良く理解できた。計画(決定)の白紙撤回をして下さい。
27	★同じように2市長、1町長の参加で決定説明ではなく、検討会として開催下さい。
28	★移転先の決定の前に市民説明が無かったため、本日の説明会が混乱したのではないかと思います。
29	★用地決定の理由についての答えが説明になっていない。
30	★印西クリーンセンター移転に納得していない。
31	★2年間話し合いの内容を開示してほしい。
32	★2年前に越してきて何も聞いていない。

印西クリーンセンター次期中間処理施設整備に関わる説明会 質疑応答

※ ◆説明会当日に寄せられた意見・質問

★説明会アンケートで寄せられた意見・質問

33	★「決定」についての報告を聞きに来たのではない。
34	★印西市②反対。
35	★率直な説明(施設の更新理由、土地の選定理由)をすべきであった。(事情が変わるのはありうることだから、その所から説明すべきであった。)
36	★用地決定過程がずさん過ぎる。
37	★処理施設移転について、結果の報告のみの感が強く、移転先の土地選定、現行施設の今後の回答に対しても反対です。
38	★計画の見直しを要求します。
39	★住民同意の無い移転はありえない。
40	★説明会を行ってください。(地域住民向け)
41	★これで住民の意見の聞いたつもりにならないでください。決定するまえに聞くことで、理解を得られるのであって、決めてからダラダラと説明だけしていればいいとはなりません。
42	★質問事項に何も答えていない。
43	★地域住民の説明会の日程を明確にしろ。
44	★組合の説明は、まったく住民に理解できるものではない。
45	★住民(市民)をバカにしているとしか思えません。
46	★何故移転するのか、説明できないのでしょうか。
47	★移転建設予定地を再検討すること。
48	★計画に納得できません。
49	★「住民と協議の上」とあるが、どのような場が設けられているのか不明で、そもそも用地の決定に至る経緯が不透明であり、不信がある。
50	★検討開始した2年前と状況が異なり、再検討するべきと思う。
51	★怒り満ちた住民をおさえるどころか、バトルにも思えるようなありさまで、印西市の下手なやり方にあきれざるばかりです。対応のまずさが今日のおそまつさに表れたのだと思います。住民の質問にまともに答えられない説明会に出たのは初めてです。責任者としての対応の不真面目さを足元から見つめ直してはいかががでしょう。
52	★地域住民から出されている意見等はあらかじめ予想されるものであり、それに答える資料を提出して説明会をすべき。
53	★課題に対する住民への理解手法に基本的にレベルアップ必要。
54	★説明会とはどんなことをする会なのか、わからない。
55	★現在あるクリーンセンターでは、何故だめなのか説明を聞いても解らない。
56	★説明資料はズサンである。説明不足で今回の説明では決定に足りる納得が得られない。今回は少なくとも候補地程度ではないか。

印西クリーンセンター次期中間処理施設整備に関わる説明会 質疑応答

※ ◆説明会当日に寄せられた意見・質問

★説明会アンケートで寄せられた意見・質問

57	★整備計画は理解できたが、予定地決定までの経過や検討委員会の内容が今一つ理解できなかった。自治体、組合としての説明責任を果していない。残念。	
58	★説明会の時間が不足。	
59	★今回の質疑内容の公開をお願いします。	
60	★現施設との数字を用いた比較で説明して欲しかった。	
61	★選定に対する回答があいまいである。	
62	★候補地決定の理由を詳細に根拠を含めて説明下さい。	
63	★講演者には申し訳ないですが、この状況では、講演よりも優先すべき事柄があったと思います。	
64	★質問が多くある中、打ち切らないでください。	
65	★立派な先生をお呼びしたにも関わらず、発言させずに帰ってしまったプログラミングをたてた、事務局の頭の悪さに驚きです。もっと上手にやってください。税金ドロボーと同じですよ。	
66	◆移転予定地は、URや千葉県企業庁の土地とのことだが、元々は当該移転予定地には周辺の住民が相当安価に売却した土地が含まれており、さらには、土地を売却した住民はまさか当該売却地にクリーンセンターが設置されるとは思っていないと聞いている。都市開発計画に協力してきた当該地域住民からも未だに説明がないと聞いているし、他の周辺住民に対しても未だに説明がない。適正かつ誠意ある対応・手続きを踏んでいない中で、広域住民への説明会を開催するとはどういうことか。 さらには、7月21日発行の「印西地区かんきょうせいび」には「用地の区画・面積については、土地所有者と協議・検討しております」との記述があるが、周辺住民への説明がないなかでどのような協議・検討が可能なのか。6月25日に開催された環境委員会でも管理者から「今後、誠意をもって地域住民に説明する」とのコメントがあったが、未だに地域住民への説明を行っていない状況にあるが、こうした手続きが適正であるとお考えか。 ◆移転先地域住民の納得が得られなければ今後の手続きを進めないとの認識でよいか。	◇これまでの選定の経緯については、検討委員会でいりすべて公開しており、資料についてはホームページで公表してまいりました。また、周辺自治会と組織する「環境委員会」に随時報告し、組合広報紙でもお知らせをしてまいりました。今回建設予定地決定について、これまでの一連の公表に準じて施設の基本計画を併せた説明会を開催(7/31)させていただきました。今後建設予定地周辺の自治会・町内会には個別の説明を実施したいと考えております。 ◇ご理解いただけるよう説明させていただきます。
67	◆組合や自治体が誠意ある対応をしてもらえないとすると、我々住民は、今回の移転先決定の無効確認請求や土地買収の執行停止請求等を裁判所に申し立てなければならないということか。	◇ご理解いただけるよう説明させていただきます。
	◆200億円規模のプロジェクトの資金手当ては完了しているのか。今後検討する程度の話なのか。	◇概算の費用負担見込みについては、構成市町に示しております。ただし予算及び財産の取得につきましては、議会案件ですので議決が必要です。

印西クリーンセンター次期中間処理施設整備に関わる説明会 質疑応答

※ ◆説明会当日に寄せられた意見・質問

★説明会アンケートで寄せられた意見・質問

68	◆クリーンセンターの運営資金の多くは、印西市・白井市・栄町からの負担金によって賄われている。そしてその負担金額は、各市町議会の予算審議の中で検討されるものであるが、現所在地よりも別途土地買収資金20億円が必要となる移転問題を市町議会議員は了承しているのか。	◇組合議会は、構成市町議会から選出のあった議員10名で構成されており、検討委員会の資料は適宜全員協議会などで説明をさせていただいております。
69	◆移転先が決定したとは、管理者と副管理者だけで決定したという認識でよいか。 ◆200億円規模のプロジェクト、かつ、移転先の土地買収資金が別途20億円かかるような移転先の決定について、管理者と副管理者が決定する権限は組織的にあり得るのか。	◇決定に至るまでの経過については、公表した資料、説明のとおりです。これらを踏まえ管理者・副管理者間の協議の上で決定したものです。 ◇場所の決定はしたところですが、財産の取得及び予算の計上については、議会の議決を得る必要があります。
70	◆移転先用地の買収資金は20億円が必要となり、この資金を手当てするためには、組合予算の決定機関である組合議会の了承が必要であるはずだが、移転先の決定にあたって、組合議会の承認を得ているのか。 ◆了承を得ていない場合、多額の資金が必要な事項について、予算権限を持つ機関に付議せずに決定するという手続きは適正といえるのか。 また、我々地域住民はそれぞれ、毎月数万円単位の住民税と年間数十万円単位の固定資産税を直接自治体に納めているが、多額の資金が必要となるような事項に関する組合の運営や印西市・白井市・栄町の運営というのは、このように管理者・副管理者、首長の独断で進めることができるものなのか。	◇予算の計上は今後行ってまいります。これまでの経緯・経過については、検討委員会の進捗を含め、適宜ご説明させていただいております。 ◇建設予定地の決定に至るまでの経緯・経過については、市・組合議会の全員協議会などで説明をさせていただいており、今後、資金に関わる予算については、組合議会等で十分議論を尽くしていただくことになると考えております。
71	◆「印西クリーンセンター次期中間処理施設整備基本計画」のパンフレットには、“住民参画”による「次期中間処理施設整備検討委員会」で検討したとし、検討委員会の構成について、“関係市町住民6名”とある。当然ながら当該住民には、移転先周辺の住民代表者が含まれているという認識でよいか。	◇移転先周辺住民としての選任はございません。ただし、現クリーンセンター周辺31自治会と組織する「環境委員会」からの選任、及び印西市住民については含まれております。
72	◆今後の予定・段取りについて、当然ながら、移転に関する移転先周辺住民の了解と、20億円以上の想定外の財政負担があり得ることに関する印西・白井・栄の市町民の了解を得るまでは、土地の買収はもちろん移転を前提とした調査費等の資金手当て・予算計上は行わないとの認識でよいか。	◇今後建設予定地周辺の自治会・町内会に個別の説明を実施し、ご理解いただけるよう説明させていただきます。
73	◆現所在地と移転先では、経済合理性の評価は“同等である”としていると思うが、将来、現所在地が25億円で売却されて初めて「同等」になるとの理解でよいか。25億円で売却できなければ、現所在地よりも移転先に建設する方が相当程度高くなるとの理解でよいか。	◇現時点での取得価格、売却価格により評価としては「同等」といたしました。現所在地の売却は10年先となりますので、最終判断において、経済状況、跡地利用等によって異なる用地費等の比較においてどちらの方が高くなるといった評価はしておりません。
74	◆「25億円」との土地評価額は、単にURが設定している“汚染されていない更地”の価格に基づき試算されたもので、土壤汚染状況や焼却灰に高濃度放射線が測定された状況を加味したものではないとの理解でよいか。	◇土壤汚染については、加味しておりません。

印西クリーンセンター次期中間処理施設整備に関わる説明会 質疑応答

※ ◆説明会当日に寄せられた意見・質問

★説明会アンケートで寄せられた意見・質問

75	◆現在地が「25億円」で売却できるという評価について、専門家の立場から実現可能性が高いと考えているのか。	◇現時点での売却価格により試算した概算額でございます。
76	◆現在地が売却できるか・できないかの結果は、現在の設備の稼働終了後一定期間が経過したとき、つまり10年程度先にわかるわけだが、現在地が「25億円」で売却できない場合、「20億円」の負担が生じ、その負担は、地域住民が負うことになるとの理解でよいか。 ◆10年先では、管理者・副管理者、組合議会議員、市町議会議員は皆入れ替わってしまっている可能性が高いが、今、決断した事項の将来の財政負担について誰が責任を負うことになるのか。 ★スケジュール表において、都市計画決定前に平成23年に用地の決定では、計画ありきのスケジュールではないか。仮に都市計画決定が出来ない場合の責任は何処。 ◆移転先を決定した現管理者と現副管理者は、将来的に現在地が「25億円」で売却できなかった場合に生じる損失を負担する覚悟があるのか。個人で保証を差し入れる覚悟はあるのか。その覚悟がないような見通しが不確実なものであれば、移転先決定は白紙撤回すべきではないか。	◇現在地の売却だけを見込んでいるのではなく、「跡地利用」の可能性検討も今後行っていくこととしております。 ◇これまでと同じように、時点毎における組織において決定していくものと考えております。 ◇行政組織としての各役割において判断していくものと考えております。
77	◆7月21日発行の「印西地区かんきょうせいび」に、移転先の決定理由として、「二酸化炭素排出抑制とエネルギー使用量削減に“格段の”効果が期待でき、最も効果が期待できる」「現在地と同等以上のCO2削減が期待できる」とあるが、その理解に間違いはないか。また、この記述については、「現在地が非効率である」ということではなく、ニュアンスとしては、「どちらでもよいが、どちらかと言えば移転先の方がよいか」という程度」との理解でよいか。	◇建設予定地の決定理由としては、都市計画並びにまちづくりの視点からの優位性及び、余熱供給における優位性が重要なポイントとなり、印西市②に決定しました。
78	◆移転先の決定の最大の要因が「熱供給の効率性」ということだろうが、学識経験者が関与した候補地の評価(78点満点)において、「余熱利用」の項目があったはずだが、その配点は何点だったのか。そして、当該項目の評価は、現在地と移転先それぞれ何点だったのか。 ◆余熱利用の効率性という観点から、両者に違いや優位性を評価することは難しいはずではないか。移転先決定の最大の要因が「熱供給の効率性」では説明になっていないのではないか。	◇検討委員会の評価配点としては余熱利用項目で9点でした。「現在地」、「印西市②」共に9点の評価でした。 ◇「熱供給の効率性」とは、供給の距離にあると思いますが、建設予定地決定にはこの他にも「都市計画並びにまちづくりの視点からの優位性」などの重要なポイントとして上げております。
79	◆現在のクリーンセンターの焼却灰から超高濃度放射線が測定されたが、その状況を受けて、何か検討委員会で検討した内容に加除修正すべき事項はないか。	◇放射性物質については検討していなかった項目でありましたので、灰の処分方法については今後修正を加える必要があるものと考えております。今後行う「基本設計」の中で、検討してまいりたいと考えております。
80	◆超高濃度放射線が測定された状況を認識してもなお、地域住民の財政負担が生じることが強く推定される「移転」にこだわるのか。新たに超高濃度放射線汚染地を作ることをどう考えているのか。	◇放射性物質は処理対象物である「ごみ」により集められた結果、灰の濃度が高くなったものと考えております。ごみ処理施設は将来も必要であり、住民の生活環境保全のための必須施設でございます。ご理解をいただきたいと存じます。

印西クリーンセンター次期中間処理施設整備に関わる説明会 質疑応答

※ ◆説明会当日に寄せられた意見・質問

★説明会アンケートで寄せられた意見・質問

81	◆平成22年1月に「中央駅北地区町内会自治会連絡会」から「現在地以外の環境に配慮した施設整備を求める」要望書が出されているが、当該住民の方々は、単に現在地の隣の土地に移転する今回の決定を納得している(所期の目的が達成されたと考えている)と考えてよいか。	◇要望書の提出につきましては真摯に受け止め、住民の声であることは十分認識しております。建設予定地決定については、その他の状況も踏まえ、総合的に判断しております。
82	◆現在地よりも「20億円」以上の財源が必要となることを、印西市民、白井市民、栄町民は認識・理解しているのか。また、その財源は地域住民が負担することを理解しているのか。そしてそのことを納得・了解しているのか。	◇建設予定地決定に至るまでの経緯は、検討委員会での評価状況、その後の経過など広報紙やHPなどを活用しながら公表に努めて参りました。また組合議会や印西市議会特別委員会、環境委員会に適宜ご報告をさせていただいた経緯がございます。さらに今回の説明会にてご報告をさせていただいたものでございます。住民の皆様には、今後ご理解をいただけるよう努めてまいります。
83	★移転先の住民の理解を得るよう、丁寧に説明を継続頂くことが必要だと思いました。一方、決定を変更することは更なる混乱を招くと思いますので、現計画で頑張っていたきたいと思います。	◇今後建設予定地周辺の自治会・町内会に個別の説明を実施し、ご理解いただけるよう努めてまいります。
84	★現施設の放射対策など、本日のテーマとは直接関係のない質問が多すぎた。関係のない質問は答える必要なし。時間がもったいない。今日の説明会は「反対派の集会」ではないはずです。	
85	★説明会の主旨・目的がしっかりと周知されなかったようです。準工業地帯の特定施設の建設は、法律で半径何メートル以上住居地域から距離がとられていれば「同意」は不要だったように思いますので、法律・条例に基づいて行っている計画である旨をしっかりと周知すべきかと思えます。	
86	★学識者が出席しているのにも関わらず、講演もできなかったことが残念でした。	◇会場にお集まり頂きました皆様にお詫び申し上げます。
87	★プログラムのたて方がおかしい。時間ばかり気にして何が、「合意ができるよう努めたい」と思う。ほんとお金、企業のことばかりで、市を支えている人のことは何も考えていない。こうやって印西市は移ってきた住民によって大きくなっているはず。そんなずいやり方ばかりしていたら、東京電力のように身の破滅です。ほんと情けないやり方です。九州電力や原子力保安院がやってきた根回しなど、汚いやり方、見え見えの講演です。どうしてわざわざ住居地の中に、クリーンセンターをまた建設する意味がわからない。放射能汚染に周辺住民をさらす気ですか。白井市や栄町からお金をもらってそのお金は何に使うのですか。周辺住民はダイオキシン汚染、放射能、悪臭など、環境汚染による心身の疾患が起きたときは、どう健康を保障してくれますか。(癌の危険性が大です。)まずは、市長、推進委員のメンバーの方々がクリーンセンターの隣にご家族(小さいお孫さん含む)と一緒に住まれて、転居されてから住民を納得させなさい。話し合いはそれからです。自分たちだけ良い思いをするのですか。	◇ごみを焼却処理する方法はご存知のとおり古くから行われており、焼却する技術、排気ガス処理する技術、安全性などは飛躍的に向上しております。国では人の健康や環境を守るために大気汚染防止法等(騒音・振動、悪臭防止)の法整備がされ適宜改正されており、ごみ処理施設においては法の規制値、基準値などをこれまでも遵守し操業してまいりました。次期施設については新技術で整備、高度化されますので、人体へ悪影響を及ぼすことは無いものと考えておりますし、ごみ処理施設周辺で健康被害や風評被害などを受けたという全国の事例も聞いておりません。さらに当組合では周辺自治会との「公害防止協定」を締結し、法より厳しい数値で規制をかけ、管理監視してまいりたいと思っておりますので、リスクという点ではご心配は無いものと考えております。

印西クリーンセンター次期中間処理施設整備に関わる説明会 質疑応答

※ ◆説明会当日に寄せられた意見・質問

★説明会アンケートで寄せられた意見・質問

88	★新施設については、一段と安全であり、住民生活に支障とならないことを強調すべきだと思う。	
89	★リスクについての説明が欲しい。健康への影響、放射性物質等。	
90	★ごみの減量についてどれだけ研究し住民に周知しているか。住民の負担を軽くし、地球環境を守りエコ社会をモットーにしてください。栄町ではリサイクル業者が残飯で肥料を作り安価で販売しています。見習ってください。これからは減量とリサイクルで今の施設を長持ちさせて下さい。	◇ごみの減量・資源化については、これまでもこれからも重要な課題であると考えております。現在、構成市町でそれぞれ地域に合った施策などを実施し、取り組んでいるところではございますが、日々排出されるごみを減らすには、長い時間と皆様方のご協力がなければなりません。この印西地区では、全員参加型の資源循環地区として、ごみ処理基本計画の中でも掲げておりますので、ごみ減量と資源化については、今後とも地域に即した施策を推進し、より一層のご協力をお願いしたいと考えております。また、次期施設で資源化施設の検討を行った中では、エネルギーの有効利用など様々な議論が出されましたが、費用対効果などの面からみても、現在の業務委託によるリサイクルを推進した方が良いとの検討結果になりましたので、現段階では資源化施設を建設することは考えておりません。
91	★廃プラを全てリサイクル、現施設の利用を計るべき。	
92	★現位置に用地があるので焼却施設を設置出来ないのか。	◇現クリーンセンターは、施設の老朽化により、建て替えが必要になっていきます。しかし、現在地では建替えスペースの問題で、長い工事期間と作業員や搬入車両の危険があり、安定的なごみ処理事業にリスクが生じる可能性があります。建設予定地では、そのようなリスクは少なく、工事期間、効率的な余熱利用事業の継続と、地球環境対策へ寄与ができること、準工業地域であり周辺環境・景観との調和などから、決定をいたしました。今後、ご理解いただけるようご説明をまいります。
93	★現行場所での機能アップが一番費用的にも効果的である。	
94	★説明会での説明は納得できない。土地を返せ。その為に土地提供したのではない。私達ニュータウン整備事業に土地を提供したものとしては事業計画が区域内全てが事業計画変更され、当初の目的計画とはまったく違っている。まして、クリーンセンターを造るなど、となり町内会としてはまったく相談を受けたこともない。現クリーンセンターは事業失敗だったのか。現在地での再構築では何故いけないのか。ここでURの土地を何故買わなければいけないのか。現在地を有効利用(土地)すれば良いのではないのか。	
95	★経済性、安心等がコンセプトとして掲げられているが、当計画がそのコンセプトに合致していることの根拠が示されていない。予算も示されていない。	◇コンセプトの柱として、現クリーンセンターの建設における目標、ごみ処理基本計画(H21.3)、印西地区循環型社会推進委員会(H18)の提言、さらに現在のごみ処理体系の評価結果及び課題を念頭に定めております。予算額(21年度末現在)については、210億となっておりますが、これはあくまでも概算額となっております。
96	★発電の他、蓄電についても考慮して欲しい。	◇廃棄物事業における蓄電システムの構築がされていないと考えますが、今後の状況によって検討していきたいと考えます。

印西クリーンセンター次期中間処理施設整備に関わる説明会 質疑応答

※ ◆説明会当日に寄せられた意見・質問

★説明会アンケートで寄せられた意見・質問

97	★印西市②74点、現在地73点と1点、200億の財政リスクをとるのか。立派な施設かもしれないが、泉地区には温水一滴程もこない。	◇目に見えるものではありませんが冷暖房システムへの熱供給は、当該地域の二酸化炭素排出量を抑制し、ひいては地球環境の保全、資源循環に寄与されるもと考えております。
98	★ニュータウン企業の為に熱供給を作るのか。事業を再度見直す必要があるのではないか。行き当たりばったりの整備事業はやめろ。	
99	★地域への冷暖房システムは住民には提供されていないので、メリットを感じていない。	

◎ 次期中間処理施設整備に関わるご意見・ご質問のみを記載しております。